



ウインドシールド 組付・取扱説明書

適応機種
DS4 / DSC4
DS11 / DSC11

本書は、ウインドシールドツールまたはウインドシールドローとステーセットを組み合わせて組み付ける場合を説明しています。

| 名 称 | 部 品 番 号 |
|-------------|-------------|
| ウインドシールドツール | 90793-53062 |
| ウインドシールドロー | 90793-53063 |
| ステーセット | 90793-53064 |

はじめに

工数：0.5h

❑お客様へ

お買い上げ誠にありがとうございます。

本書には商品の正しい組付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。

本製品は、オートバイに関する整備上の一般的な知識および技能を有する方（販売店、整備業者）が組み付けることを前提としております。それ以外の方が組み付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に組み付けを依頼してください。本書は、お車の取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。お車を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

❑販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。

本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠ 警告 取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注意 取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要 点 正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。



ヤマハサービスマニュアルを参照してください。

構 成 部 品

| No. | 品 名 | 部 品 番 号 | 数 量 | 備 考 |
|--------|-------------|---------|-----|----------------------------|
| ① | シールドASSY. | | 1 | ウインドシールド、ツールまたはロー |
| ステーセット | | | | |
| ② | トップブラケット | | 2 | |
| ③ | アンダーブラケット | | 1 | |
| ④ | ロッドナット | | 1 | M8 |
| ⑤ | ボタンヘッドボルト | | 4 | M8 × 16mm |
| ⑥ | フランジキャップナット | | 2 | M8 |
| ⑦ | ボタンヘッドボルト | | 4* | M8 × 50mm ※DS4/DS11は2本のみ使用 |

部品番号欄が空欄のものは、補修部品の設定はありません。

要 点

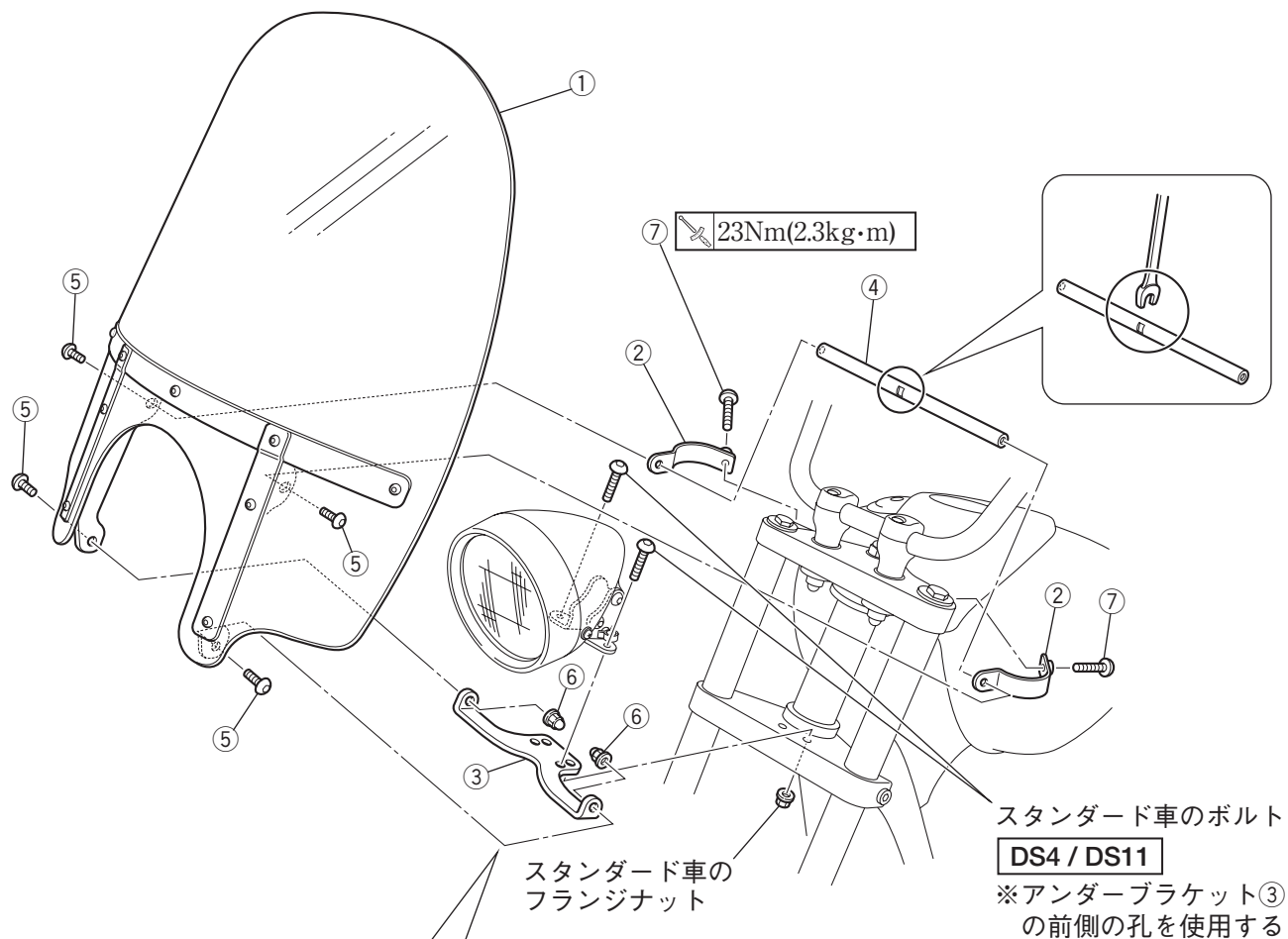
- キット以外の部品は、スタンダード車の部品を再使用します。
- 取り外した部品で再使用しない部品は、スタンダードに戻すときに必要となりますので大切に保管してください。

組 付 方 法

⚠ 警 告

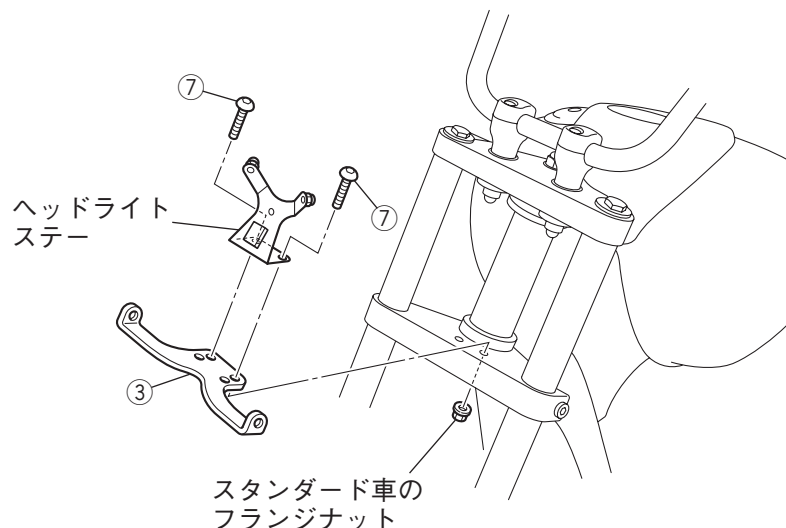
平坦な場所で車両が倒れないように固定してから作業を始めてください。

1. スタンダード車のハンドルクラウン部インナーチューブ締付ボルトを取り外します。🔧
2. トップブラケット②をボタンヘッドボルト⑦でハンドルクラウン部へ組み付けます。
3. スタンダード車のヘッドライトASSY.を取り外し、キットのアンダーブラケット③をスタンダード車のヘッドライトステーの下側へ組み付けます。DS4/DS11はスタンダード車のボルトとフランジナットを使用し、DSC4/DSC11はボタンヘッドボルト⑦とスタンダード車のフランジナットを使用して組み付けます。
4. スタンダード車に組み付けたトップブラケット②、アンダーブラケット③部にシールドASSY.①をボタンヘッドボルト⑤、フランジキャップナット⑥、ロッドナット④を使用して組み付けます。



DSC4 / DSC11

※組み付けボルトと組付孔が異なります。
(アンダーブラケットの後ろ側に孔を使用する)

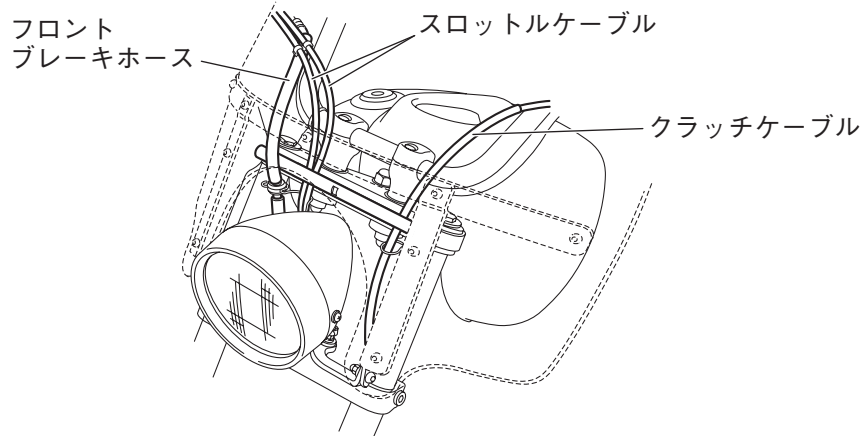


ケーブル類の取り回し

⚠ 警告

- ハンドルを左右ロック位置まで動かし、運転に支障がないか確認してください。ハンドル操作に支障があると重大な事故につながる恐れがあります。
- ホースやケーブル類が折れ曲がったり引っ張られたりしていないか確認してください。ホースやケーブル類が損傷し、思わぬ事故につながる恐れがあります。

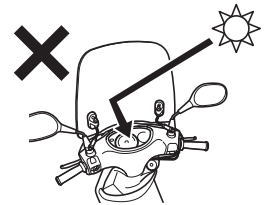
- ・ フロントブレーキホースは、ロッドナット④の前側を通します。
- ・ スロットルケーブル、クラッチケーブルは、ロッドナット④の後側を通します。



取扱上のご注意

注意

- ウインドシールドに直射日光が当たらないように駐車してください。ウインドシールドが凹面鏡になり、反射集光した太陽光が発熱し、車両のカバーなどを変形させる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所に駐車する場合は、柔らかいタオルなどでウインドシールドをカバーして直射日光が当たらないようにしてください。



⚠ 警告

- 組付後と走行前に、各部品に緩みやガタつきがないか確認し、定期的にボルトやなどの増締めをしてください。走行中に部品が緩んだり外れたりすると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ヒビ割れしたウインドシールドは使用しないでください。そのまま使用すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。

注意

- ウインドシールドの清掃は中性洗剤を使用し、柔らかい布かスポンジで水洗いしてください。ワックス類、ユニコンカークリーム、コンパウンド入りのクリーニング剤を使用すると、製品に傷が付く恐れがあります。
- ウインドシールドにガソリン、ブレーキオイル、アルコールなどの化学薬品を付けないように注意してください。ヒビ割れの原因となります。
- ウインドシールドを組み付けた車両は、日陰や風通しのよいところに駐車してください。車両にカバーをかぶせ高温で放置すると、カバー内に熱がこもりウインドシールドが変形することがあります。